

Print ISSN 0563-8682
Online ISSN 2424-1377

東南アジア研究

**Japanese Journal of
Southeast Asian Studies**

Vol.62 No.1

和文編集委員会

小林 知 (委員長)
甲山 治
小林 篤史
中村 亮介
町北 朋洋
山本 博之
設楽 成実

Japanese Board of Editors

KOBAYASHI Satoru (Editor)
KOZAN Osamu
KOBAYASHI Atsushi
NAKAMURA Ryosuke
MACHIKITA Tomohiro
YAMAMOTO Hiroyuki
SHITARA Narumi

〈特集〉編集責任者

中西 嘉宏

Special Editor of This Issue

NAKANISHI Yoshihiro

COPYRIGHT © 2024 By Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University.

All Rights Reserved

Print ISSN 0563-8682

Online ISSN 2424-1377

東南アジア研究

62巻1号

2024年7月

目次

〈特集〉危機の文脈

——ロヒンギャ問題を巡る複眼的考察——

- はしがき 中西嘉宏 (3)
- ミャンマーにおける仏教ナショナリズムの行方 藏本龍介 (10)
- ラカイン州北部とミャンマー軍の脅威認識 中西嘉宏 (28)
- 「ロヒンギャ」のチョール移転
——バングラデシュ側の対応が意味すること—— 高田峰夫 (47)
- 国際社会の司法的干渉と政治共同体の自己免疫過剰
——「ロヒンギャ問題」から考える—— 土佐弘之 (70)
- ソーシャルメディアでのロヒンギャの語られ方
——マレー語のツイート分析から——
..... 岡本正明, 桐村 喬 (90)

書評

- 梅崎昌裕. 『微生物との共生——パプアニューギニア高地人の適応システム』
生態人類学は挑む MONOGRAPH 9.
京都大学学術出版会, 2023, vi+234p. 古澤拓郎 (107)
- 籠谷直人; 川村朋貴 (編). 『近代東南アジア社会経済の国際的契機』
臨川書店, 2023, 387p. 太田 淳 (109)
- 川中 豪; 鈴木有理佳. 『権威主義的反動と新自由主義——ドゥテルテ政権の6年』
日本貿易振興機構アジア経済研究所, 2023, iv+125p. 原 民樹 (112)
- 池端雪浦. 『フィリピン革命の研究』
山川出版社, 2022, 441+57p. 内山史子 (115)
- 平田晶子. 『ラオス山地民とラム歌謡——内戦を生き抜いた宗教・芸能実践の民族誌』
風響社, 2023, 365p. 津村文彦 (119)

JAPANESE JOURNAL OF SOUTHEAST ASIAN STUDIES

Vol. 62, No. 1

July 2024

CONTENTS

Contexts of Crisis:

Understanding the Rohingya Issue from Multiple Perspectives

NAKANISHI Yoshihiro	Introduction	(3)
KURAMOTO Ryosuke	Whither Buddhist Nationalism in Myanmar?	(10)
NAKANISHI Yoshihiro	Northern Rakhine State and the Threat Perception of Myanmar's Armed Forces	(28)
TAKADA Mineo	<i>Char</i> Relocation of Rohingya: The Implications of Bangladesh's Response	(47)
TOSA Hiroyuki	International Judicial Intervention and Excessive Self-immunity of the Political Community: Another Reflection on the Rohingya Issue	(70)
OKAMOTO Masaaki KIRIMURA Takashi	Discourse Analysis on the Rohingya Issue in Social Media: Analysis of the Malay-Language Tweets	(90)

Book Reviews

FURUSAWA Takuro	Umezaki Masahiro. <i>Symbiosis with Microbiomes: Adaptation System of the Papua New Guinea Highlanders</i> . Kyoto: Kyoto University Press, 2023, vi+234p.	(107)
OTA Atsushi	Kagotani Naoto and Kawamura Tomotaka, eds. <i>Society and Economy of Southeast Asia in Modern Globalization: Java and Intra-Asian Regional Networks</i> . Kyoto: Rinsen Book Co., 2023, 387p.	(109)
HARA Tamiki	Kawanaka Takeshi and Suzuki Yurika. <i>Authoritarian Backlash and Neo-Liberalism: Six Years of the Duterte Administration</i> . Chiba: Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO), 2023, iv+125p.	(112)
UCHIYAMA Fumiko	Ikehata Setsuho. <i>A Study of the Philippine Revolution</i> . Tokyo: Yamakawa Shuppansha Co., Ltd., 2022, 441+57p.	(115)
TSUMURA Fumihiko	Hirata Akiko. <i>Upland Lao People and Lam Singing: An Ethnography of Religious and Performing Arts Practices that Have Survived the Laotian Civil War</i> . Tokyo: Fukyosha Publishing Inc., 2023, 365p.	(119)

『東南アジア研究』日本語原稿投稿規程

- 1) 投稿原稿は、東南アジア地域研究に寄与するものとする。
- 2) 投稿原稿は、レフェリー制度を通じて掲載の可否が決定される。投稿原稿は原則として返却しない。
- 3) 原則として使用言語は日本語とする。特殊な文字ならびに記号の使用については編集室に相談のこと。常用漢字、現代かなづかいを用い8つ以内のキーワード（日英併記）と200語程度の英文要旨を付するものとする。
投稿原稿の長さは、注、引用文献を含め、400字詰め原稿用紙計算で80枚以内を原則とする。なお、上記には図・表・写真を含めないが、特に多数の場合は編集室に相談のこと。
書評は、約4,000字で執筆するものとする。
- 4) 投稿原稿は電子文書とし、e-mailまたは郵送で受け付ける。郵送の場合は、電子文書とともに印刷した原稿を添付すること。
図は、そのまま印刷可能なものに限る。コンピュータで図表を作成した場合は、別ファイルとすること。写真、付図、付表などには希望の挿入箇所、大きさを指定するものとする。
- 5) 掲載された論文等の著作権は原則として京都大学東南アジア地域研究研究所に帰属する。
- 6) 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。ただしカラーの写真や図（内容の理解に必要不可欠なものに限る）については実費を徴収する。別刷りを30部贈呈する。なお、それ以外にもあらかじめ注文があれば実費で製作する。
- 7) 参考文献表記法が当誌ホームページ (<https://kyoto-seas.org/ja/>) に掲げてあるので、投稿希望者は参照されたい。郵送を希望する場合は、編集室に請求のこと。
- 8) 投稿に関する連絡先は次の通り。
〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46
京都大学東南アジア地域研究研究所編集室
Tel. 075-753-7344
Fax. 075-753-7356
e-mail: japanese-editorial@cseas.kyoto-u.ac.jp

東南アジア研究 62 巻 1 号

2024 年 7 月 31 日 発行

編集・発行者 京都大学東南アジア地域研究研究所
〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46
印刷 中西印刷株式会社
〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

京都大学東南アジア地域研究研究所 CSEAS, Kyoto University, Kyoto Japan

62 卷 1 号

2024/7

〈特集〉危機の文脈
——ロヒンギャ問題を巡る複眼的考察——

はしがき……………中西嘉宏

ミャンマーにおける仏教ナショナリズムの行方……………藏本龍介

ラカイン州北部とミャンマー軍の脅威認識……………中西嘉宏

「ロヒンギャ」のチャール移転
——バングラデシュ側の対応が意味すること——……………高田峰夫

国際社会の司法的干渉と政治共同体の自己免疫過剰
——「ロヒンギャ問題」から考える——……………土佐弘之

ソーシャルメディアでのロヒンギャの語られ方
——マレー語のツイート分析から——……………岡本正明
桐村 喬

書 評

